

## 適正化方策の検討に係る検証事項

(〇〇小学校 方策 ー )

方策 ー (新設統合) 〇〇〇学校を〇〇〇学校と統合し、〇〇〇学校敷地に統合校を設置する。

項目		検証内容				
分野	視点					
1. 学校規模	(1)適正な学校規模の確保	①統合校の学校規模		②適正規模を外れる場合、適正規模となる見込み及び時期（大規模校の常態化の有無）		③住宅開発等の動向
2. 施設規模	(1)受入れ可能な教室の確保	①保有教室数		②受入れ教室が不足する場合の増築等の可能性		③学校施設整備計画等との整合性
	(2)良好な学習環境の確保	④小・中学校設置基準（H14文部科学省令）に定める校舎、運動場面積		⑤学校敷地の形状・面積、校舎・体育館等の建築年数及び状態		
3. 通学区域	(1)適正な通学距離の確保	①最長通学距離		②通学時の児童生徒の動線（不自然な通学様態）		③自転車通学、バス通学等の検討の必要性和有効なバス路線の有無
	(2)通学路の安全性の確保	④地形地物（鉄道・幹線道路・河川等）		⑤防災・防犯上の課題		
	(3)子どもの生活圏の確保			⑥通学区域の広さ、形状		
4. 小中連携	(1)小・中学校の接続関係の確保	①中学校区との関係（「一小一中」の接続関係）		②統合後の中学校の学校規模		③小中一貫教育への対応
5. 地域連携	(1)学校と地域との連携の確保	①自治会等の区域		②学校の沿革、地域の歴史的な経緯		

※ 各方策案の評価・検討については、各学校の諸状況により項目毎の重要度（優先度）が異なることから、総合的に評価・検討するものとする。